

地域公共交通計画に基づく 令和7年度評価（追加報告）

道路・交通政策局 交通政策課

令和8年6月22日

1 横浜市全体の評価

番号	評価指標	現状値 (計画策定時)	実績値 (R 8 年 3 月末)	目標値
1	駅まで15分達成人口割合	92.3%	91.5%※ ¹	維持
2	導入及び維持した路線数	33路線	43路線	84路線
3	新たな支援地区数	——	37地区	50地区程度
4	バス運転士数の充足率	94.3%	94.7%	100%
5	外出が増加した地区数	——	2地区	50地区程度
6	利用促進に関する取組件数	52件/年	96件/年	増加
7	公共交通分担率	50.2%	—— ※ ²	増加

※1：R8年4月の実績

※2：令和10年度パーソントリップ調査を用いて評価

1 横浜市全体の評価

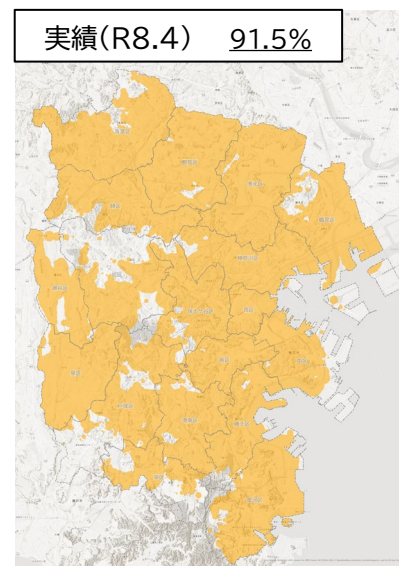
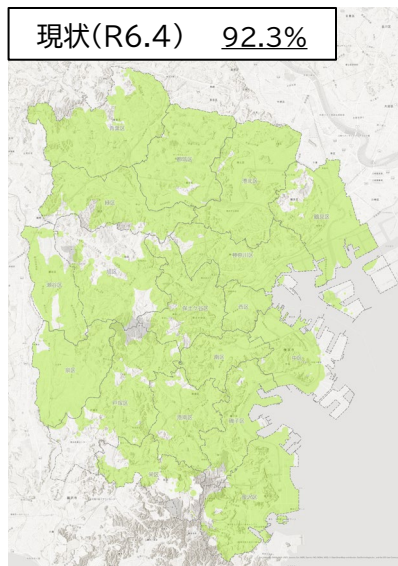
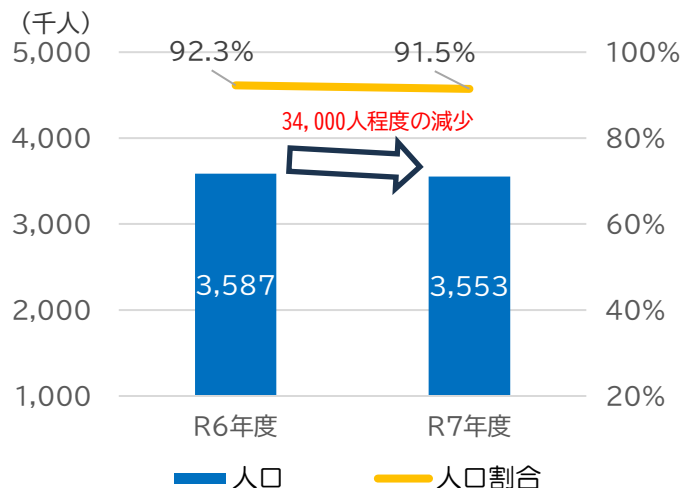
1 駅まで15分達成人口割合

評価指標	R8年4月実績
駅まで15分達成人口割合	91.5%

駅まで15分達成割合は 91.5% (R6から 0.8%減少)
人口は約3,553千人※ (R6から 34千人減少)

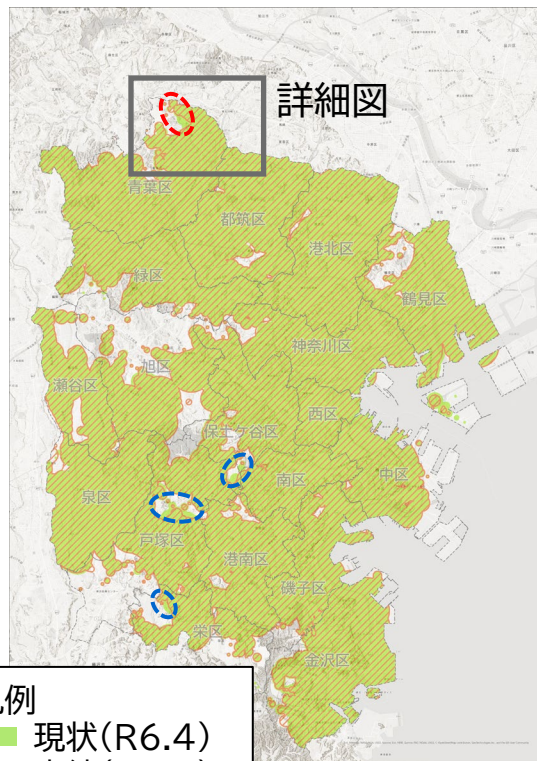
※ R2国調結果を使用しているため、最新(R7国調)の居住状況は未反映

・駅まで15分達成人口・割合



1 横浜市全体の評価

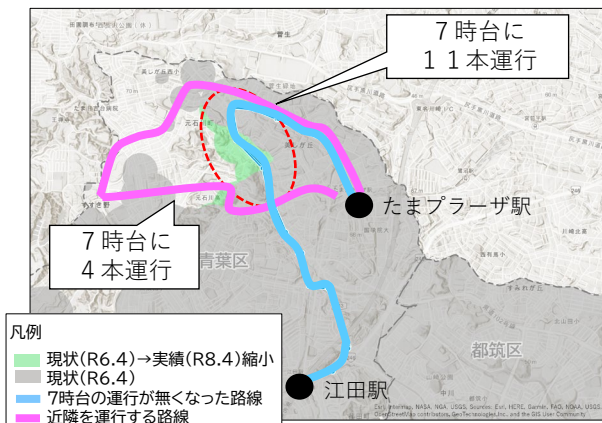
1 駅まで15分達成人口割合



系統の廃止や、大幅なネットワーク再編による利便性の低下は無かった。しかし、以下の影響から一部の区域に圏域の減少がありました。

○ 通勤時間帯（7時台）の運行便が無くなった。

原因：コロナ後の需要回復に伴う他系統の増便対応と、運転士の全体調整により減便となった。



7時台の運行便が(1便→0便)変更になり15分達成範囲は縮小したが、近隣には高頻度でバスが運行している

○ その他

実際の交通状況を踏まえた運行時刻の数分単位での調整

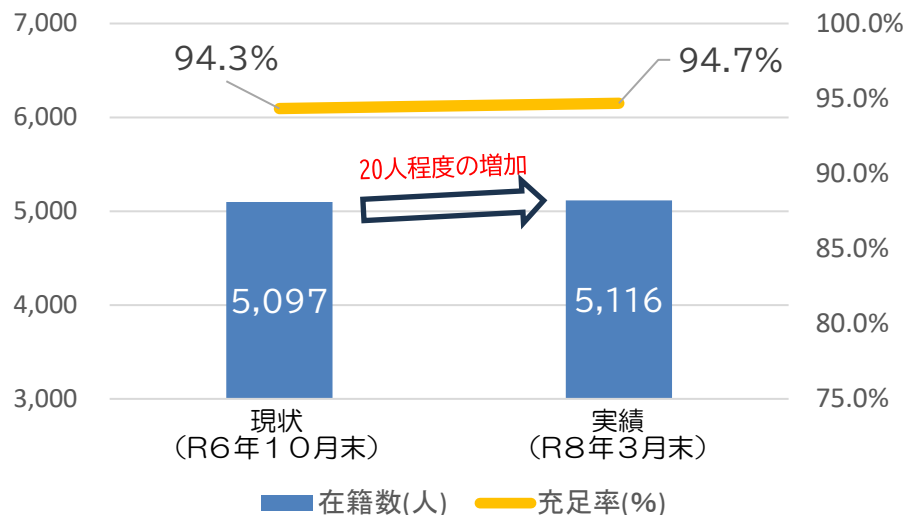
1 横浜市全体の評価

4 バス運転士数の充足率

評価指標	R8年3月末実績
バス運転士数の充足率※1	94.7%

※1 現状値(R 6)の定員数 5,403人に対する充足率

・在籍数と充足率の推移



事業者と市が連携しながら運転士確保に努めた結果増加傾向※2となった

● 事業者の取組

積極的な採用活動や待遇改善など、運転士の確保に尽力している

● 市の取組

民間バス運転士住居支援事業費補助金をR7年度から開始しており、受給者、事業者共に好意的に受け止められている

● 事業者と市の連携

バスの魅力発信や共同でのイベント実施等により、人材確保に努めている

※2 バス運転士の在籍数に加え、離職防止等の効果等についてもモニタリングしていく

明日をひらく都市

OPEN  PIONEER

YOKOHAMA